令和8年度　福島市のまちづくりに関する市民アンケート調査結果

1　調査期間

令和8年5月22日（金）～令和8年6月12日（金）

2　回答方法

インターネットおよび郵送による回答

3　対象者数

3,000人（福島市に居住する15歳以上の方の中から、性別及び居住地区を考慮して無作為に抽出）

4　回答数

1,622人（回答率 54.1%）（インターネット：717人＋郵送：905人）

令和7年度　1,450人（回答率 48.3%）（インターネット：480人＋郵送：970人）

令和6年度　1,377人（回答率 45.9%）（インターネット：438人＋郵送：939人）

令和5年度　657人（回答率 16.4%）（インターネット：614人＋郵送：43人）　R5のみ標本数4,000人

令和4年度　594人（回答率 19.8%）（インターネット：549人＋郵送：45人）

※R4,5はインターネット回答を基本とし、希望者にのみ紙の回答用紙を郵送。R6以降は回答方法を各自選択できるように配慮。

5　備考

令和7年度の調査から各設問に自由記述欄を設け、なぜその回答を選択したのか任意で理由や意見を記載できるようにした。

理由や意見はAI分析を行い、頻出項目をそれぞれ上位５件抽出し、本結果に掲載している。

市政全般に対する意見もAIによる集約を行い、本結果の最終頁に掲載している。

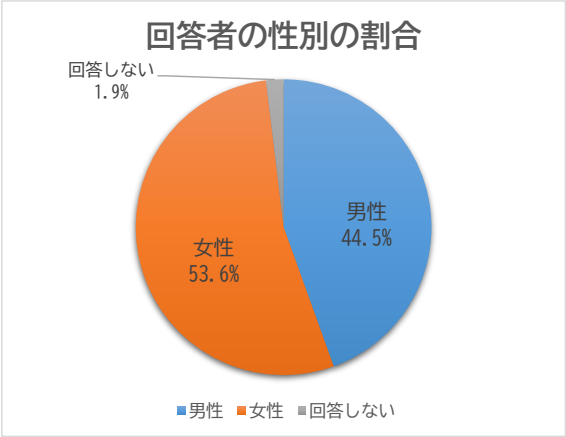
1　はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。あてはまるものを選んでください。

あなたの性別は、どちらですか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
男性	722	44.5
女性	869	53.6
回答しない	31	1.9

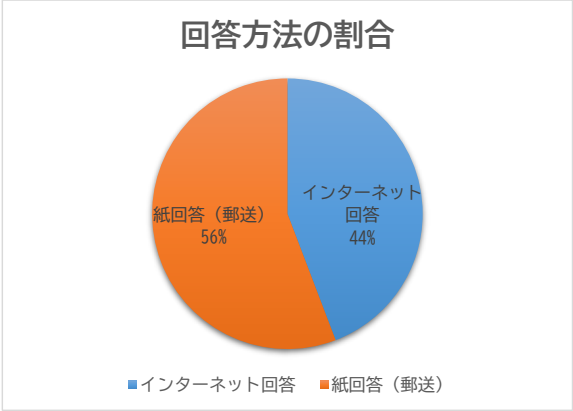
（参考）

	発送件数	構成比(%)	回答率(%)
	3,000	100.0	54.1
男性	1,459	48.6	49.5
女性	1,541	51.4	56.4



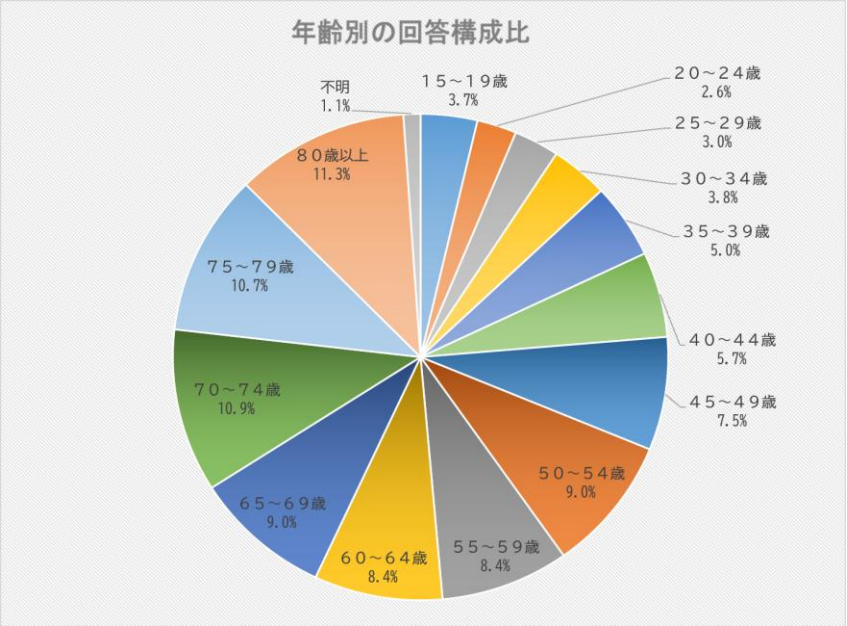
回答方法の割合

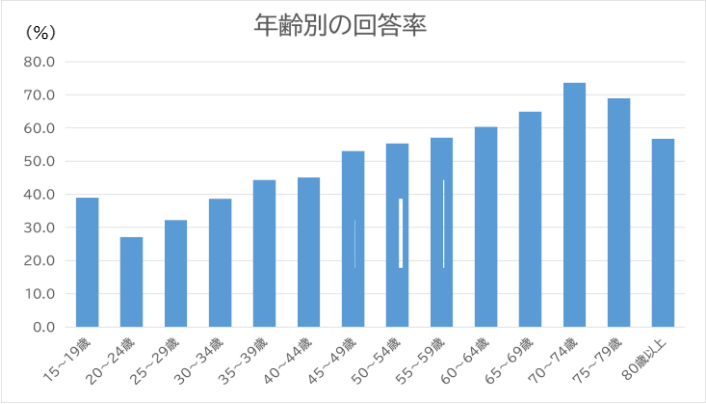
項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
インターネット回答	717	44.2
紙回答（郵送）	905	55.8



2　あなたの年齢は、何歳ですか。

	R7				
年齢	回答数	回答 構成比(%)	発送件数	発送 構成比(%)	回答率
１５～１９歳	60	3.7%	154	5.1%	39.0
２０～２４歳	42	2.6%	155	5.2%	27.1
２５～２９歳	48	3.0%	149	5.0%	32.2
３０～３４歳	61	3.8%	158	5.3%	38.6
３５～３９歳	81	5.0%	183	6.1%	44.3
４０～４４歳	92	5.7%	204	6.8%	45.1
４５～４９歳	122	7.5%	230	7.7%	53.0
５０～５４歳	146	9.0%	264	8.8%	55.3
５５～５９歳	136	8.4%	238	7.9%	57.1
６０～６４歳	136	8.4%	225	7.5%	60.4
６５～６９歳	146	9.0%	225	7.5%	64.9
７０～７４歳	176	10.9%	239	8.0%	73.6
７５～７９歳	174	10.7%	252	8.4%	69.0
８０歳以上	184	11.3%	324	10.8%	56.8
不明	18	1.1%			
全体	1622		3,000		54.1





（参考）インターネット回答

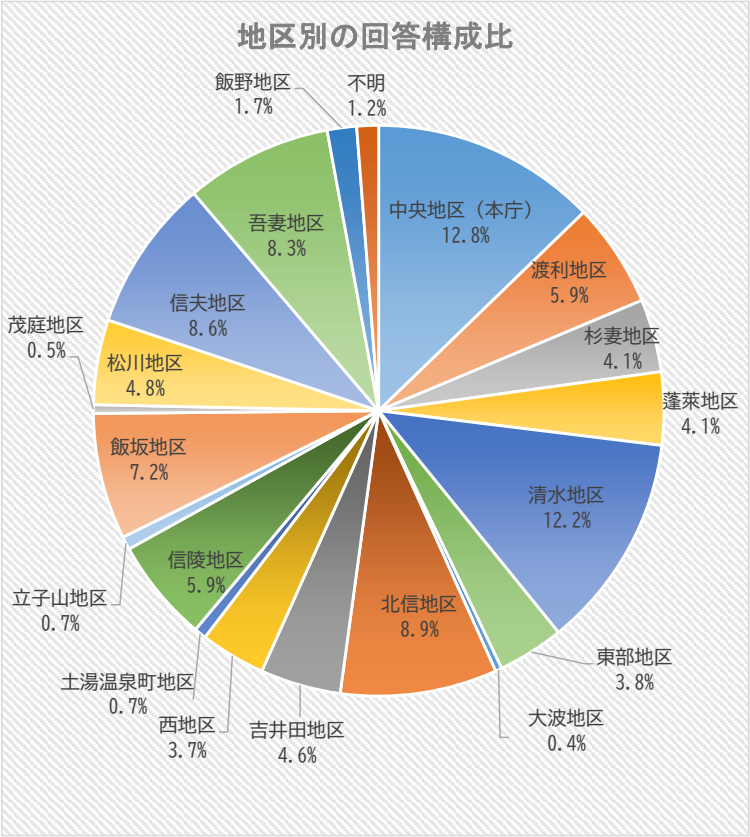
年齢	回答数	回答 構成比(%)	発送件数	発送 構成比(%)	回答率
１５～１９歳	47	2.9%	154	5.1%	30.5
２０～２４歳	32	2.0%	155	5.2%	20.6
２５～２９歳	40	2.5%	149	5.0%	26.8
３０～３４歳	51	3.1%	158	5.3%	32.3
３５～３９歳	62	3.8%	183	6.1%	33.9
４０～４４歳	64	3.9%	204	6.8%	31.4
４５～４９歳	89	5.5%	230	7.7%	38.7
５０～５４歳	77	4.7%	264	8.8%	29.2
５５～５９歳	81	5.0%	238	7.9%	34.0
６０～６４歳	64	3.9%	225	7.5%	28.4
６５～６９歳	36	2.2%	225	7.5%	16.0
７０～７４歳	39	2.4%	239	8.0%	16.3
７５～７９歳	17	1.0%	252	8.4%	6.7
８０歳以上	18	1.1%	324	10.8%	5.6
不明	0	0.0%			
全体	717		3,000		23.9

（参考）紙回答

年齢	回答数	回答 構成比(%)	発送件数	発送 構成比(%)	回答率
１５～１９歳	13	0.8%	154	5.1%	8.4
２０～２４歳	10	0.6%	155	5.2%	6.5
２５～２９歳	8	0.5%	149	5.0%	5.4
３０～３４歳	10	0.6%	158	5.3%	6.3
３５～３９歳	19	1.2%	183	6.1%	10.4
４０～４４歳	28	1.7%	204	6.8%	13.7
４５～４９歳	33	2.0%	230	7.7%	14.3
５０～５４歳	69	4.3%	264	8.8%	26.1
５５～５９歳	55	3.4%	238	7.9%	23.1
６０～６４歳	72	4.4%	225	7.5%	32.0
６５～６９歳	110	6.8%	225	7.5%	48.9
７０～７４歳	137	8.4%	239	8.0%	57.3
７５～７９歳	157	9.7%	252	8.4%	62.3
８０歳以上	166	10.2%	324	10.8%	51.2
不明	18	1.1%			
全体	905		3,000		30.2

3　あなたのお住まいの地区は、どちらですか。

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
中央地区（本庁）	207	12.8
渡利地区	96	5.9
杉妻地区	67	4.1
蓬莱地区	67	4.1
清水地区	198	12.2
東部地区	61	3.8
大波地区	6	0.4
北信地区	144	8.9
吉井田地区	74	4.6
西地区	60	3.7
土湯温泉町地区	11	0.7
信陵地区	95	5.9
立子山地区	12	0.7
飯坂地区	116	7.2
茂庭地区	8	0.5
松川地区	78	4.8
信夫地区	140	8.6
吾妻地区	135	8.3
飯野地区	27	1.7
不明	20	1.2

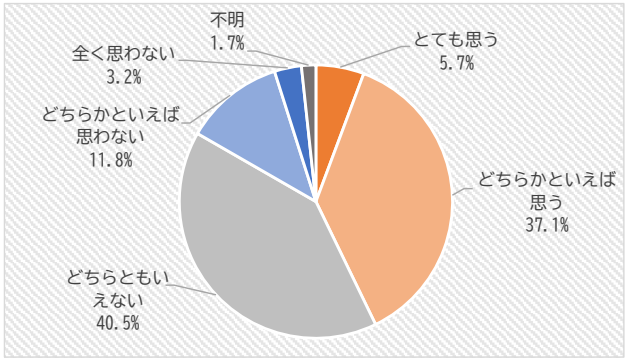


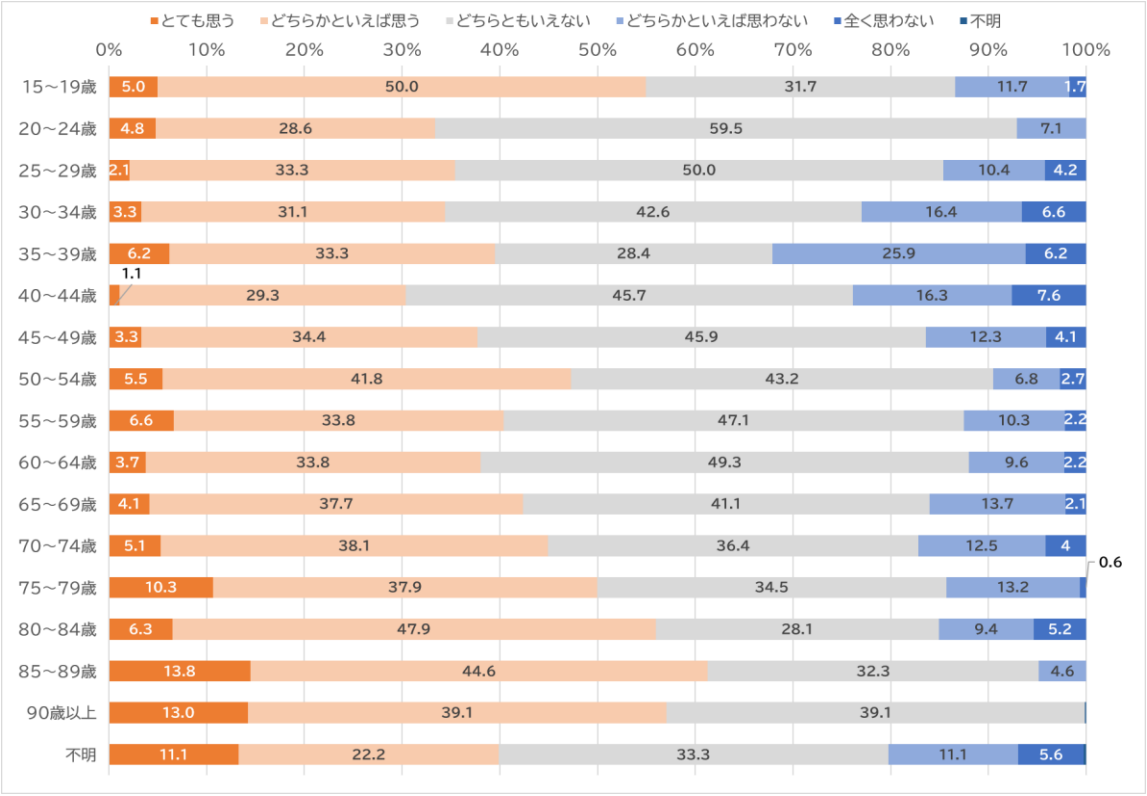
4　次に、福島市のまちづくりについて、あなたのお考えをお伺いします。
あなたは、福島市が子育てしやすいまちだと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	93	5.7
どちらかといえば思う	602	37.1
どちらともいえない	656	40.5
どちらかといえば思わない	192	11.8
全く思わない	51	3.2
不明	28	1.7

（令和7年度実績値）	基準値
42.8	48.8

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
47.4	44.0	43.7	48.0





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．子供医療費無償化
2．自然豊かで安心の環境
3．待機児童対策が充実
4．教育施設の整備進行
5．支援制度の利用が簡単

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．室内遊び場が少ない
2．学校施設の老朽化
3．保育士不足による負担増
4．子育て支援の遅れ
5．経済的負担が重い

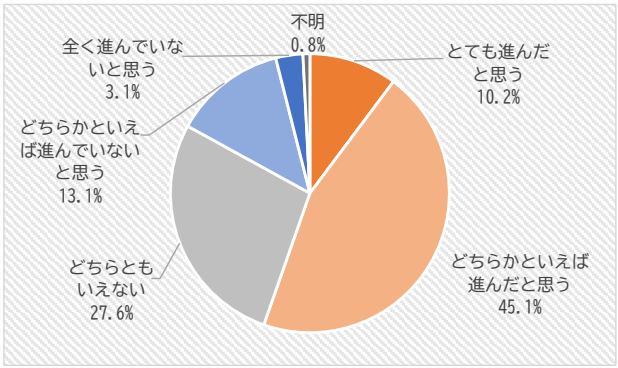
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．情報が周知されていない
2．他市との比較が不明確
3．子育ての実感がない
4．遊び場の設備が不足
5．子供が少なく環境が静寂

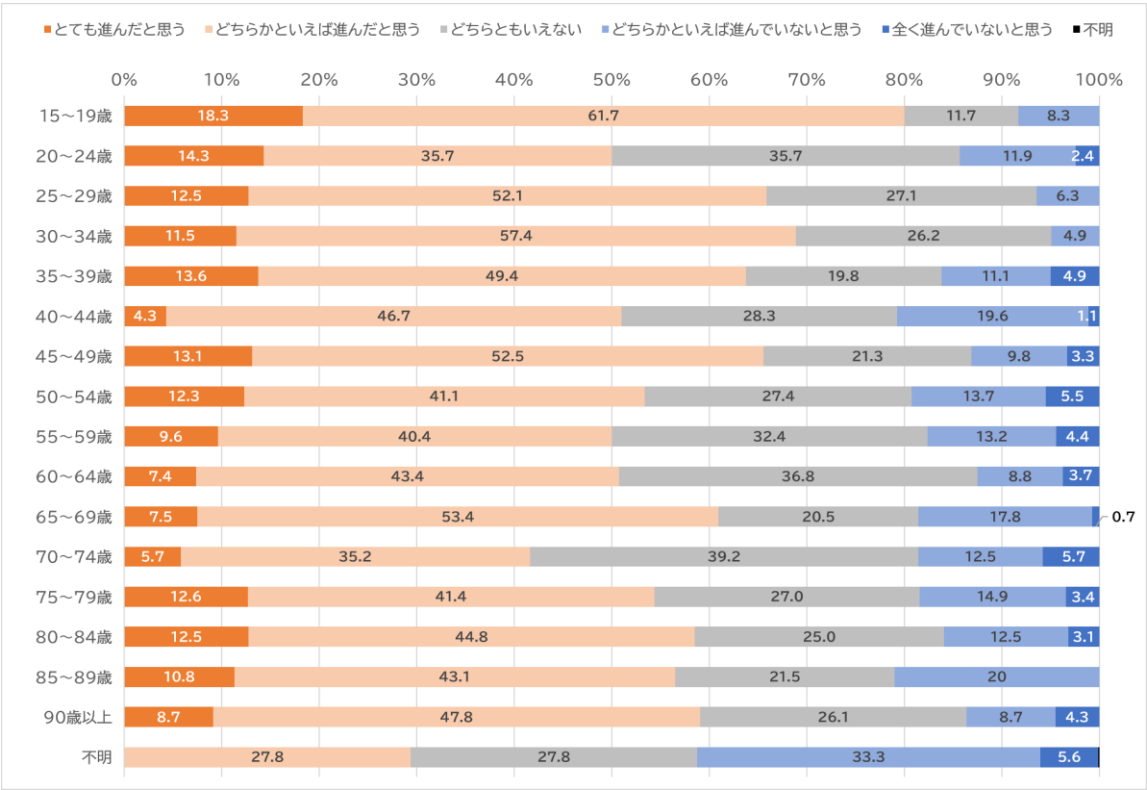
5　あなたは、福島市の復興が進んだと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても進んだと思う	166	10.2
どちらかといえば進んだと思う	732	45.1
どちらともいえない	448	27.6
どちらかといえば進んでいないと思う	212	13.1
全く進んでいないと思う	51	3.2
不明	13	0.8

（令和7年度実績値）	基準値
55.3	58.3

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
55.3	57.0	65.2	64.3





●分析結果

「とても進んだと思う」または「どちらかといえば進んだと思う」の回答者の頻出項目
1．農産物の魅力PR進展
2．放射線量の軽減
3．避難住宅の解消
4．観光客が増加傾向
5．イベント効果で活性化

「どちらかといえば進んでいないと思う」または「全く進んでいないと思う」
1．駅前開発の停滞
2．商業施設が減少
3．山菜出荷制限の継続
4．若者流出と人口減少
5．風評被害が未解消

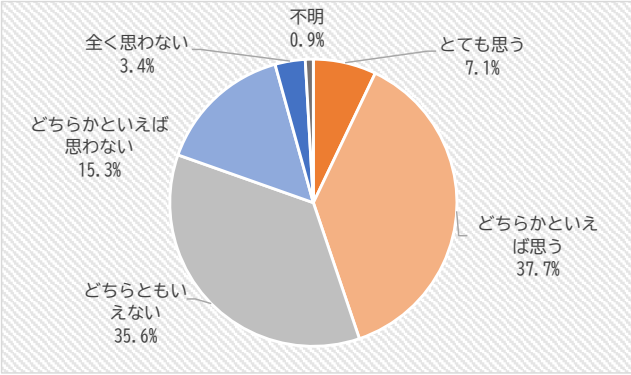
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．判断基準が不明確
2．震災の復興目標が曖昧
3．外国から見た偏見残存
4．現状維持との混同多い
5．街の活気がまだ不足

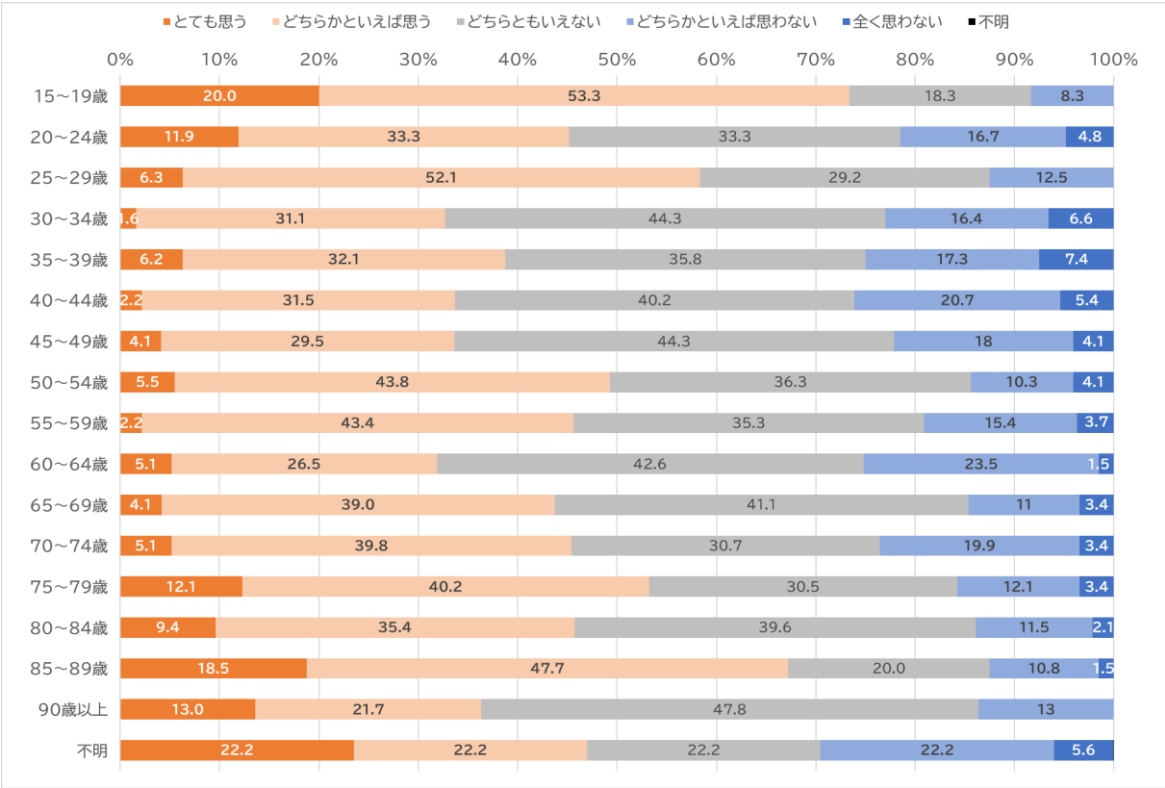
6　あなたは、福島市が危機や災害に強く安心して暮らせるまちだと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	115	7.1
どちらかといえば思う	611	37.7
どちらともいえない	578	35.6
どちらかといえば思わない	248	15.3
全く思わない	56	3.4
不明	14	0.9

（令和7年度実績値）	基準値
44.8	44.2

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
47.8	39.9	46.6	45.5





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．災害対策の進展
2．避難所の整備向上
3．防災意識の向上
4．風評払拭が進行
5．地域の助け合い実感

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．熊対策が不十分
2．浸水区域の不安
3．避難所の環境課題
4．情報周知不足
5．災害備えに地域格差

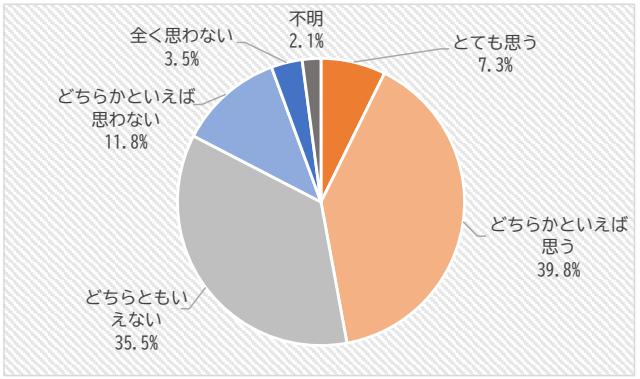
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．熊被害への対応懸念
2．災害時の行動が不安
3．防災施策の具体性不足
4．災害時の情報が不明確
5．危機対策の進展が限定

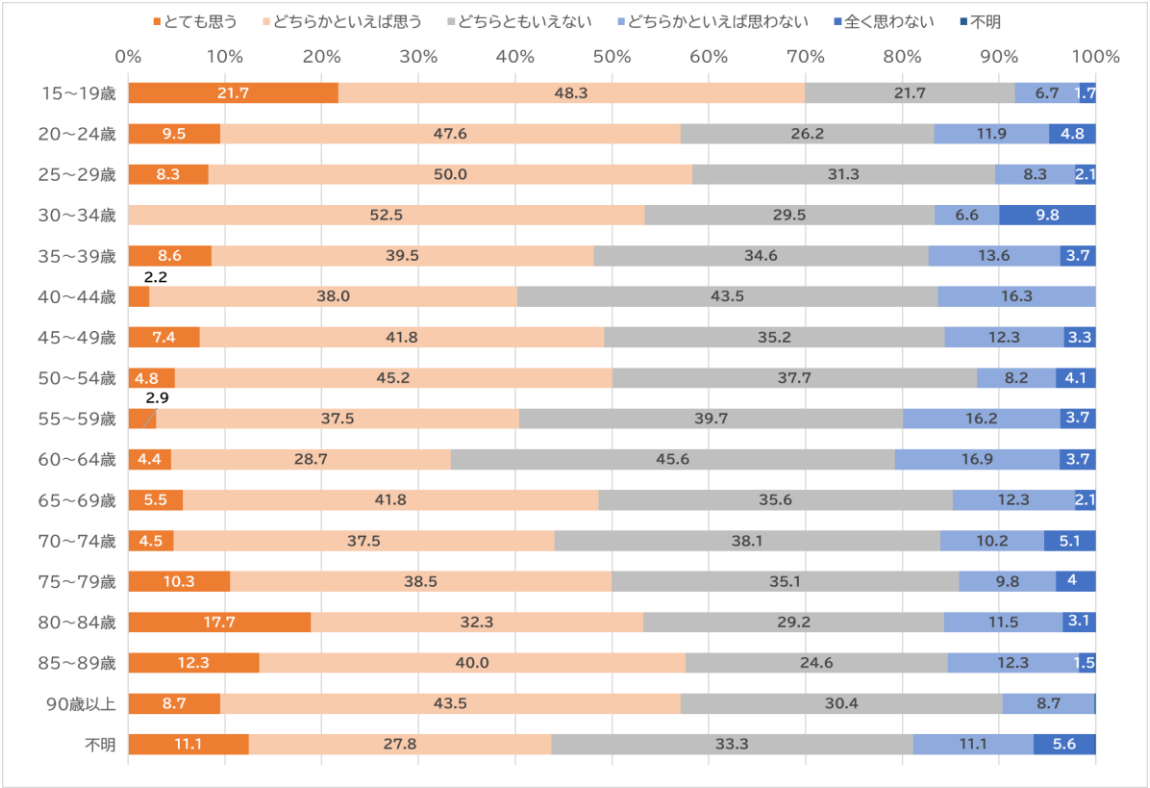
7　あなたは、福島市が健康づくりや医療体制が充実したまちだと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	119	7.3
どちらかといえば思う	645	39.8
どちらともいえない	576	35.5
どちらかといえば思わない	191	11.8
全く思わない	57	3.5
不明	34	2.1

（令和7年度実績値）	基準値
47.1	44.0

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
58.1	43.9	57.6	54.5





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．医療施設の充実感
2．夜間診療での安心感
3．小児科の充実を評価
4．健康増進イベントの期待
5．オンライン診療の便利さ

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．夜間救急の対応への不満
2．産婦人科不足
3．医療連携の欠如感
4．医療スタッフの不足
5．小児科の予約困難

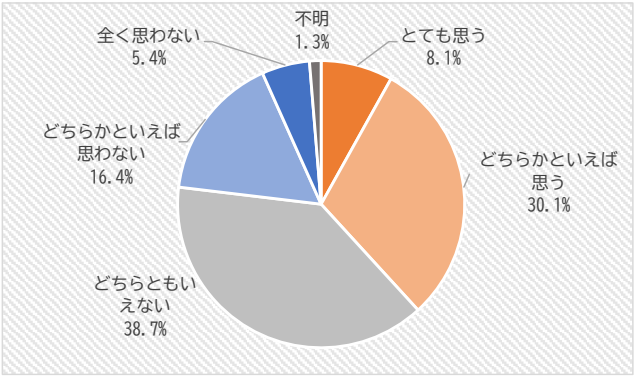
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．医療施設の地域差懸念
2．小児精神科医不足
3．健診の予約が取りづらい
4．高齢者支援体制不透明
5．医療連携の周知不足

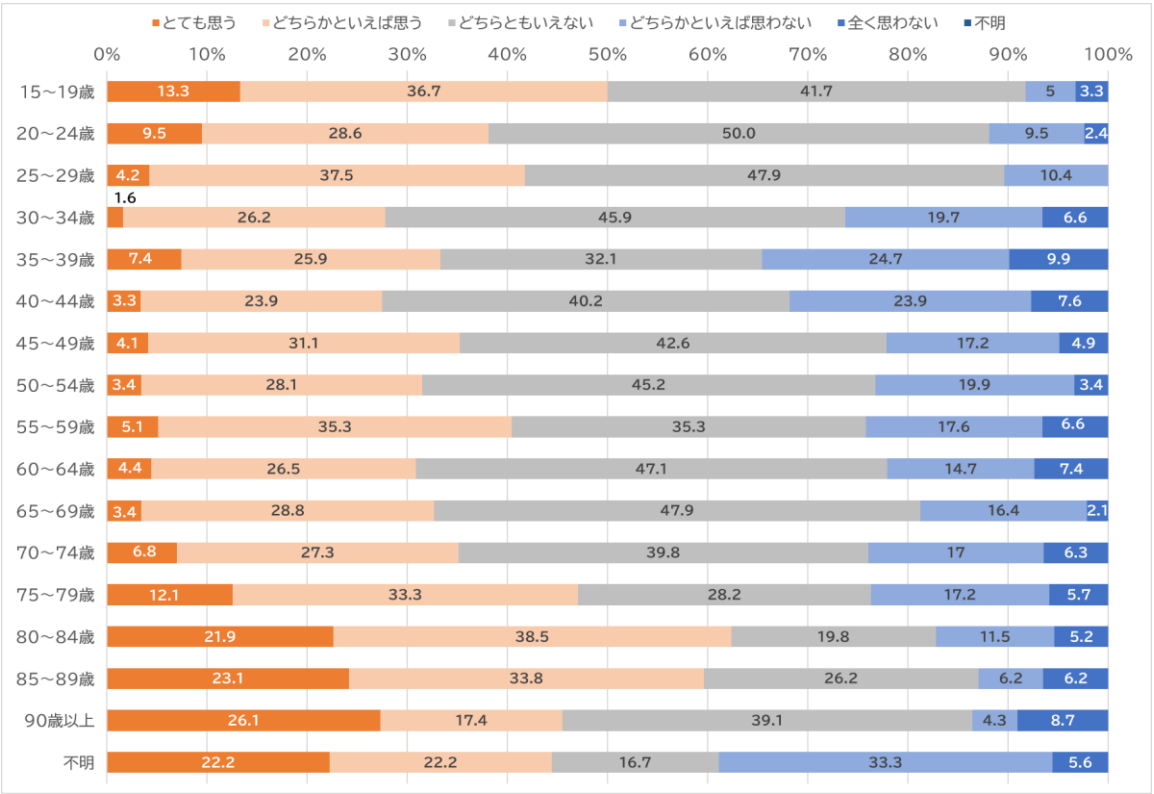
8　あなたは、高齢者や障がい者、子連れの人などが外出する際、周りの理解や手助けがあると思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	131	8.1
どちらかといえば思う	489	30.1
どちらともいえない	627	38.7
どちらかといえば思わない	266	16.4
全く思わない	88	5.4
不明	21	1.3

（令和7年度実績値）	基準値
38.2	34.0

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
36.2	35.7	29.7	33.7





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．シルバーパスポートを評価
2．地域包括支援の感謝
3．他者への暖かい対応を実感
4．子ども連れへの配慮
5．公共交通助成の有用性

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．障がい者支援の遅れ
2．高齢者への支援不足
3．手続きや制度の複雑さ
4．バス停や交通環境が課題
5．周囲の理解の欠如

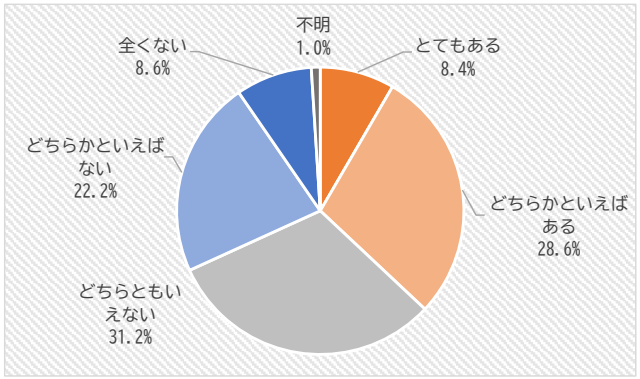
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．支援制度の周知不足
2．福祉バス設備が不足
3．地域格差による懸念
4．高齢者支援体制が課題
5．個別事例への対応不足

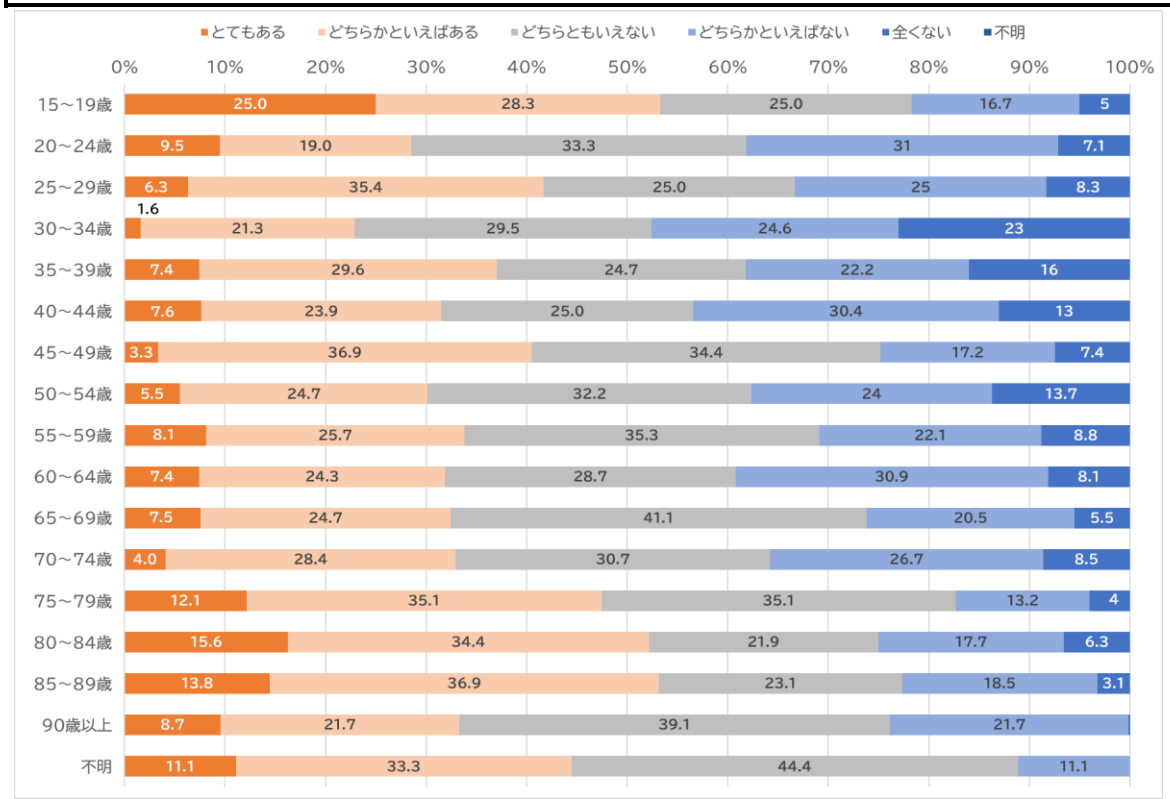
9　あなたは、福島らしい文化芸術で自信を持って紹介できるものがありますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とてもある	136	8.4
どちらかといえばある	465	28.6
どちらともいえない	506	31.2
どちらかといえばない	360	22.2
全くない	139	8.6
不明	16	1.0

（令和7年度実績値）	基準値
37.0	40.6

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
38.8	36.2	37.9	38.9





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえばある」の回答者の頻出項目
1．古関裕而の功績を評価
2．音楽堂や美術館が魅力
3．わらじ祭りの認知度向上
4．飯坂温泉など温泉地が魅力
5．福島らしい自然のPR

「どちらかといえばない」または「全くない」の回答者の頻出項目
1．郡山との比較で文化が劣勢
2．アピールが不足を指摘
3．福島らしさの欠如懸念
4．古関裕而への偏り批判
5．観光地の整備不足

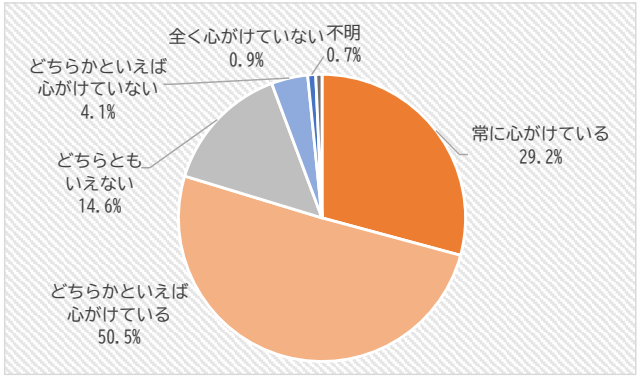
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．資源の活用策が不明瞭
2．宣伝および理解不足指摘
3．地域内認知度向上が必要
4．施設利用やイベントが課題
5．市民参加型復興アイデア

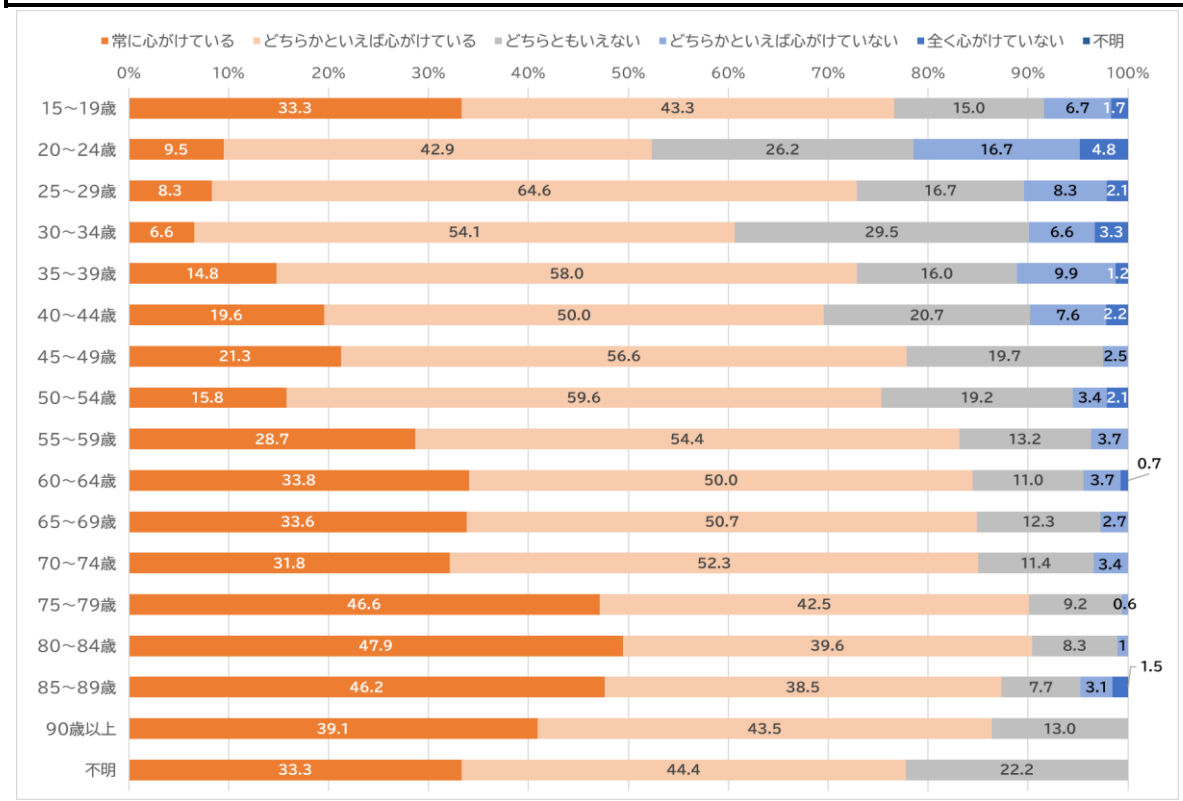
１０　あなたは、ＣＯ２の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけていますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
常に心がけている	473	29.2
どちらかといえば心がけている	820	50.5
どちらともいえない	237	14.6
どちらかといえば心がけていない	66	4.1
全く心がけていない	14	0.9
不明	12	0.7

（令和7年度実績値）	基準値
79.7	70.8

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
82.5	68.0	72.6	76.2





●分析結果

「常に心がけている」または「どちらかといえば心がけている」の回答者の頻出項目
1．ゴミ分別と減量の徹底
2．生ゴミの堆肥化の推進
3．エコバッグやエコ活動
4．コンポスト利用の提案
5．家電の省エネ化実践

「どちらかといえば心がけていない」または「全く心がけていない」の回答者の頻出項目
1．忙しく対応が難しい
2．福島市の施策への批判
3．分別ルールの煩雑さ
4．自然回帰の仕組みが欠如
5．プライバシー侵害を懸念

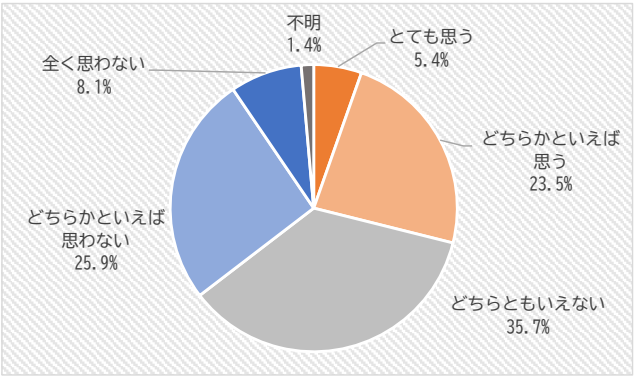
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．分別ルールの理解不足
2．ゴミ問題意識の向上が必要
3．アプリなど利用を提案
4．住民参加型施策が不足
5．燃焼ゴミ技術への疑問

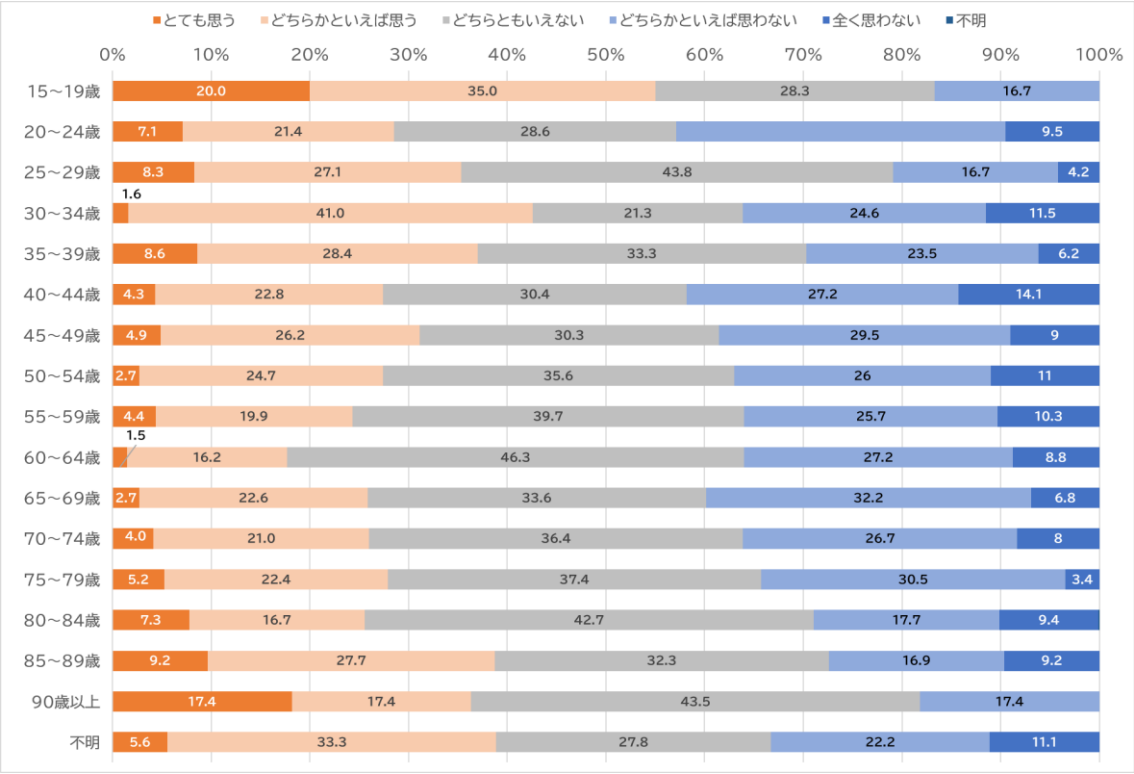
１１　あなたは、福島市の農業や商業、工業などの産業が活力あふれるまちだと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	87	5.4
どちらかといえば思う	382	23.5
どちらともいえない	579	35.7
どちらかといえば思わない	420	25.9
全く思わない	131	8.1
不明	23	1.4

（令和7年度実績値）	基準値
28.9	25.8

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
28.1	27.3	30.2	30.0





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．福島の果物品質を評価
2．農業と観光の連携推進
3．工業団地への期待感
4．商業施設の活性化
5．若者の起業環境が充実

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．駅前開発の遅れ
2．農業後継者不足解消が必要
3．商業・工業衰退への懸念
4．顧客流出の危機感
5．不動産活用の進展不足

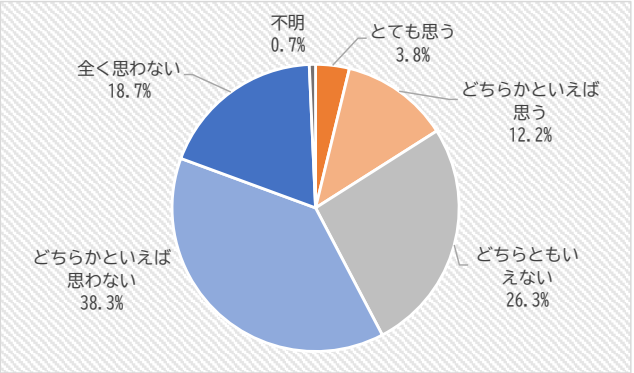
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．駅前再開発に期待感
2．農業の現状評価と課題
3．後継者問題の深刻化
4．商業施設整備要請
5．他市との比較による懸念

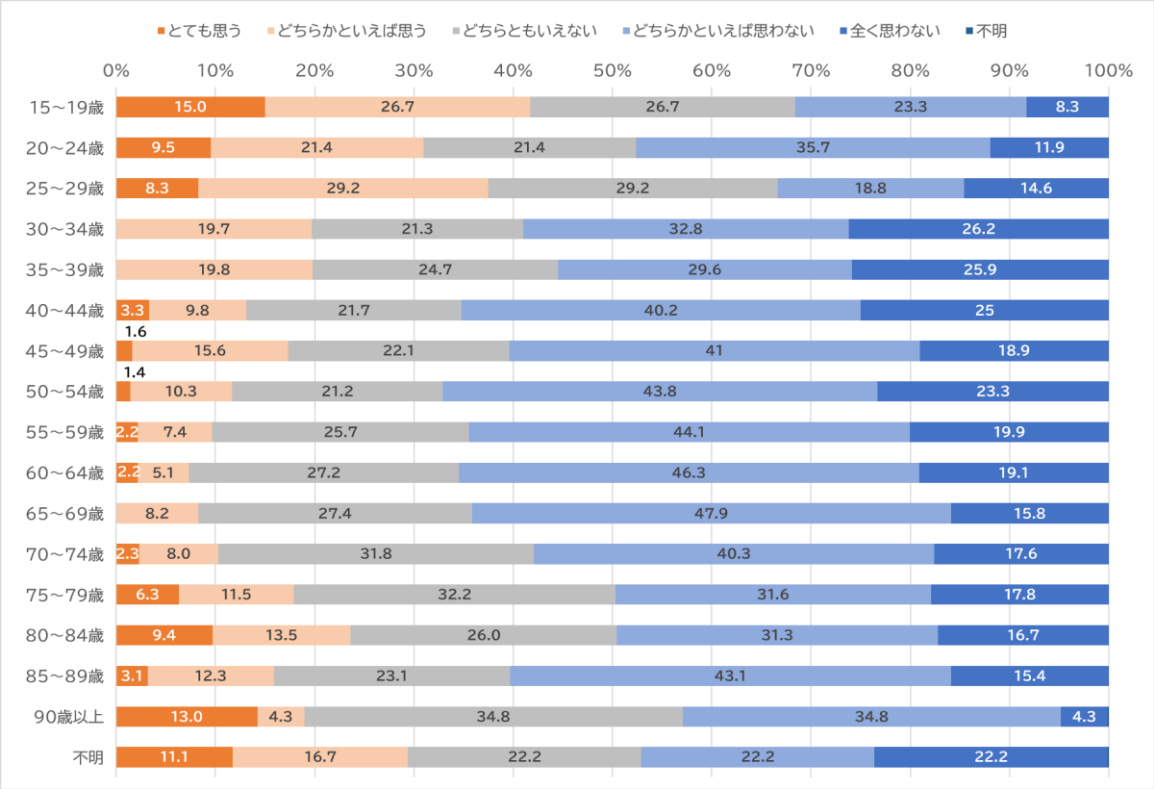
１２　あなたは、福島市が福島らしい個性とにぎわいのあるまちだと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	61	3.8
どちらかといえば思う	198	12.2
どちらともいえない	426	26.3
どちらかといえば思わない	622	38.3
全く思わない	303	18.7
不明	12	0.7

（令和7年度実績値）	基準値
16.0	22.3

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
18.3	16.7	21.4	22.5





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．福島らしい果物の魅力
2．イベントによる地域活性化
3．自然と観光の調和推進
4．若者参画の重要性強調
5．国際交流の場の構築を期待

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．駅前開発の遅れ
2．商業施設不足と活気の低下
3．若者離れと人口減少懸念
4．他市比較による競争劣勢
5．街中の空洞化

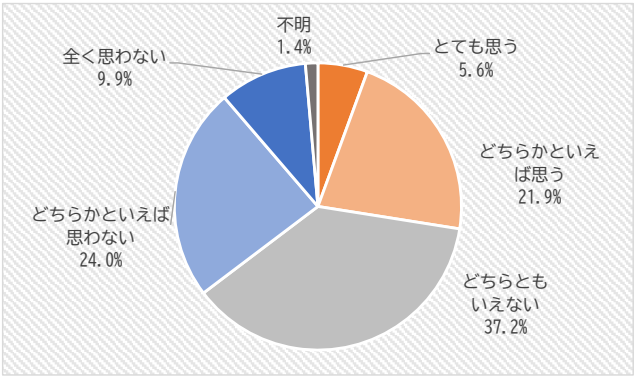
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．駅前再開発への慎重な検討
2．福島らしさの具体化を希求
3．再開発のスピード感を期待
4．街全体の活気不足
5．イベントと街づくりへの期待

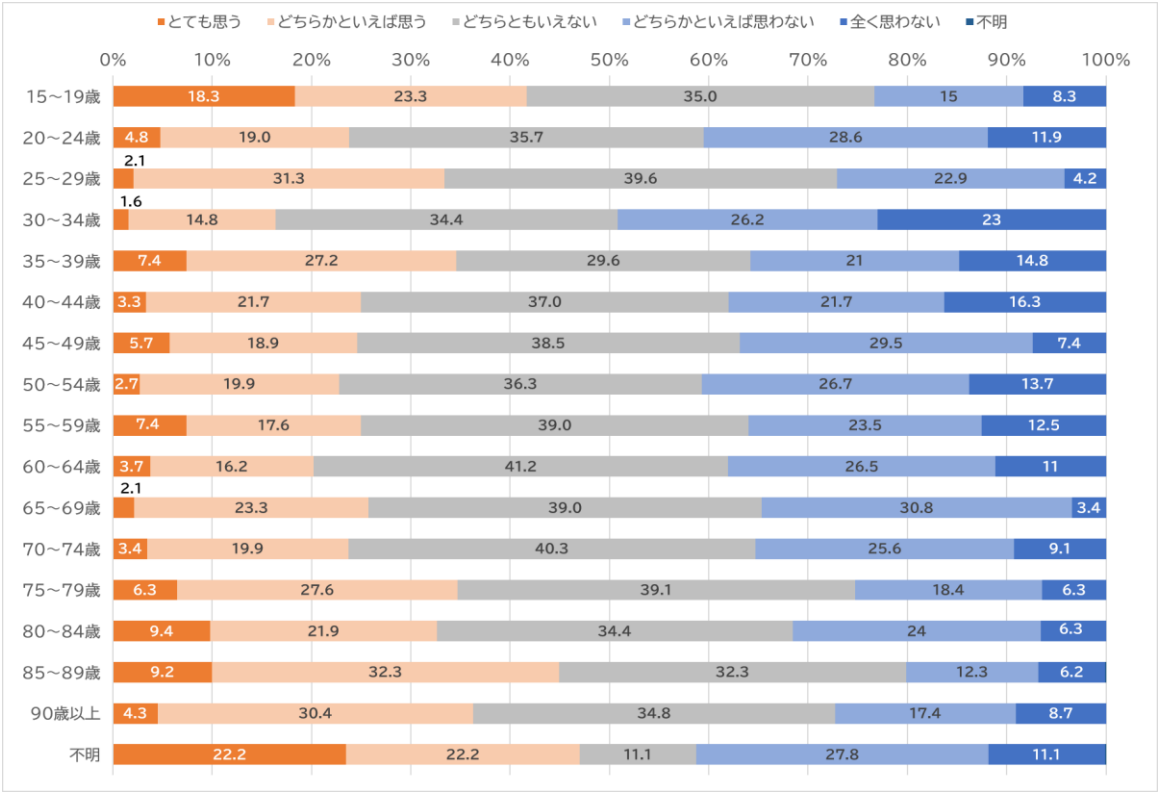
１３　あなたは、福島市が移住・定住先として自信を持って紹介できるまちだと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	90	5.6
どちらかといえば思う	356	21.9
どちらともいえない	603	37.2
どちらかといえば思わない	390	24.0
全く思わない	160	9.9
不明	23	1.4

（令和7年度実績値）	基準値
27.5	26.8

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
28.2	25.6	26.6	28.3





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．自然豊かで住みやすい環境
2．首都圏へのアクセス良好
3．子育て支援の充実
4．食べ物が美味しい魅力
5．温泉による癒しの提供

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．地元経済の弱さと職不足
2．公共交通の利便性不満
3．周知不足と支援制度が不透明
4．若者の流出
5．再開発の遅延

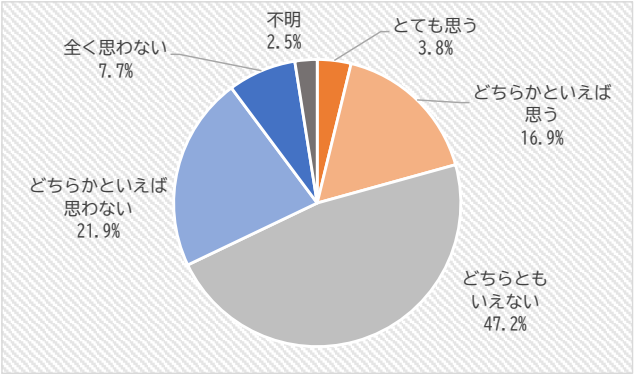
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．労働環境改善の必要性
2．支援や周知の充実を期待
3．温泉と食文化の潜在力
4．福島らしさの認識が不足
5．住環境維持

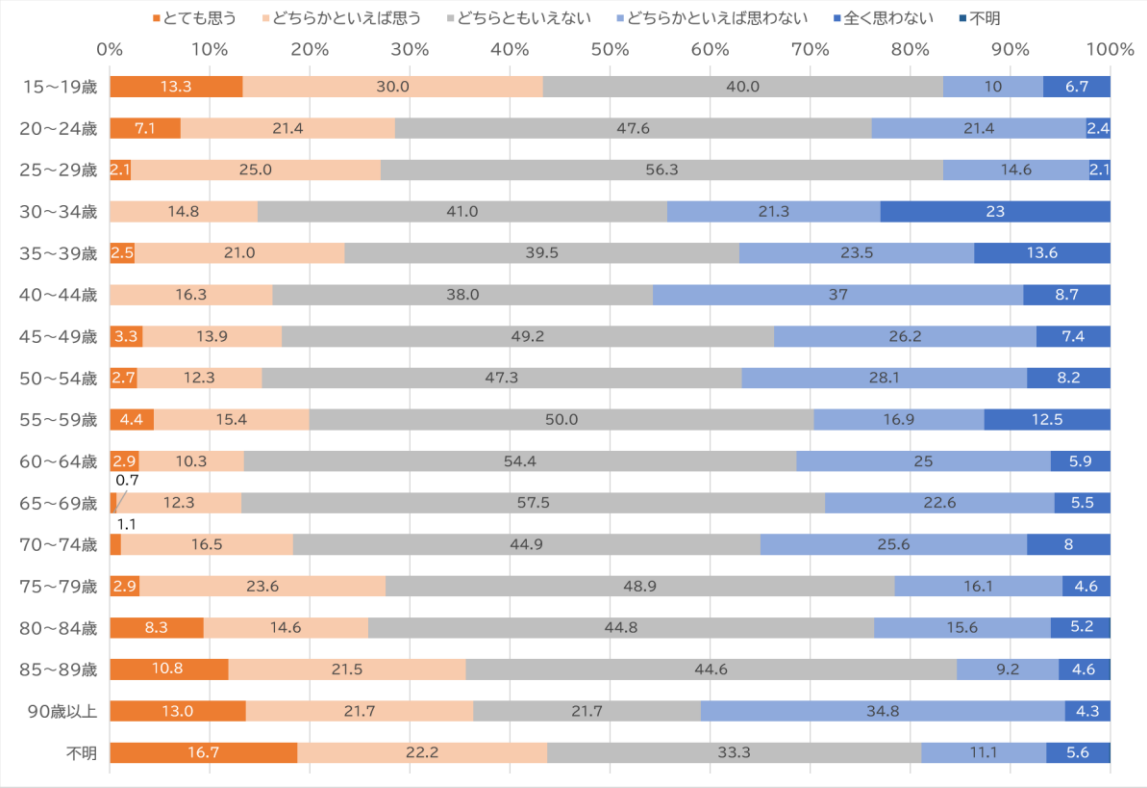
１４　福島市は、性別や年齢、立場に関わらず、個性や能力を十分に生かすことができるまちだと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	61	3.8
どちらかといえば思う	275	16.9
どちらともいえない	765	47.2
どちらかといえば思わない	355	21.9
全く思わない	125	7.7
不明	41	2.5

（令和7年度実績値）	基準値
20.7	17.3

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
19.4	18.6	18.6	16.9





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．男女平等の促進を期待
2．若者と女性の活躍支援
3．教育環境の充実が重要
4．自然と多様性の尊重
5．ワークライフバランス強化

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．男性主体社会の改善が必要
2．若者流出と活気不足
3．障がい者理解と支援不足
4．女性差別と不平等感
5．古い価値観の根深さ

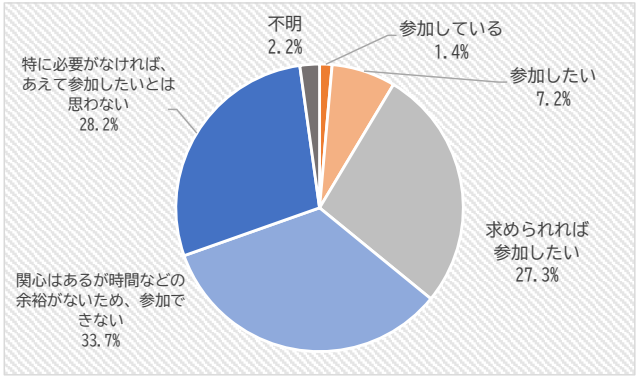
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．支援制度の周知が不足
2．前向きな施策も実感薄い
3．教育と育児環境が課題
4．古い体制への改善を期待
5．男女共同参画の発展性

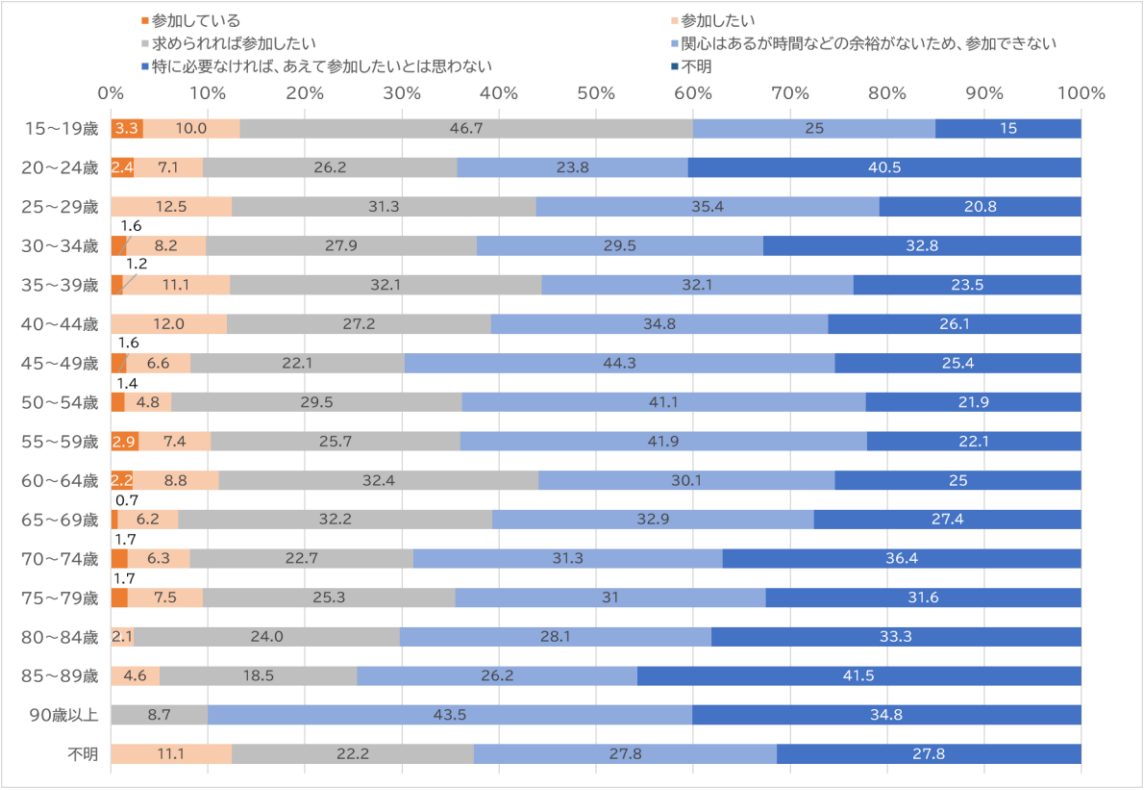
１５　あなたは、まちづくりに参加したいと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
参加している	23	1.4
参加したい	117	7.2
求められれば参加したい	443	27.3
関心はあるが時間などの余裕がないため、参加できない	546	33.7
特に必要がなければ、あえて参加したいとは思わない	457	28.2
不明	36	2.2

（令和7年度実績値）	基準値
8.6	11.8

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
8.4	9.0	13.0	11.4





●分析結果

「参加している」または「参加したい」の回答者の頻出項目
1．福島市への愛着と貢献
2．環境保護や美化活動参加
3．地元活性化への積極提案
4．若者や次世代への支援
5．趣味や特技活用への意欲

「関心はあるが時間などの余裕がないため、参加できない」または「特に必要なければ、あえて参加したいと思わない」の回答者の頻出項目
1．時間不足で参加が難しい
2．高齢や健康上の制約
3．福島市への不満や課題
4．まちの魅力や方向性不足
5．参加意欲を刺激する施策が必要

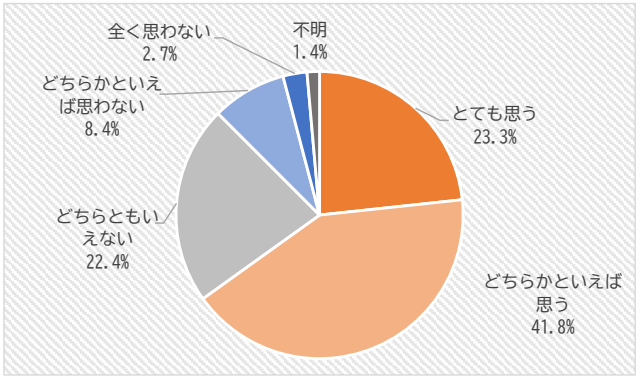
「求められれば参加したい」の回答者の頻出項目
1．近場や条件を限定で参加
2．具体的情報提供が不足
3．まちの現状改善を要望
4．若者や年配者の交流を期待
5．ボランティア活動への関心

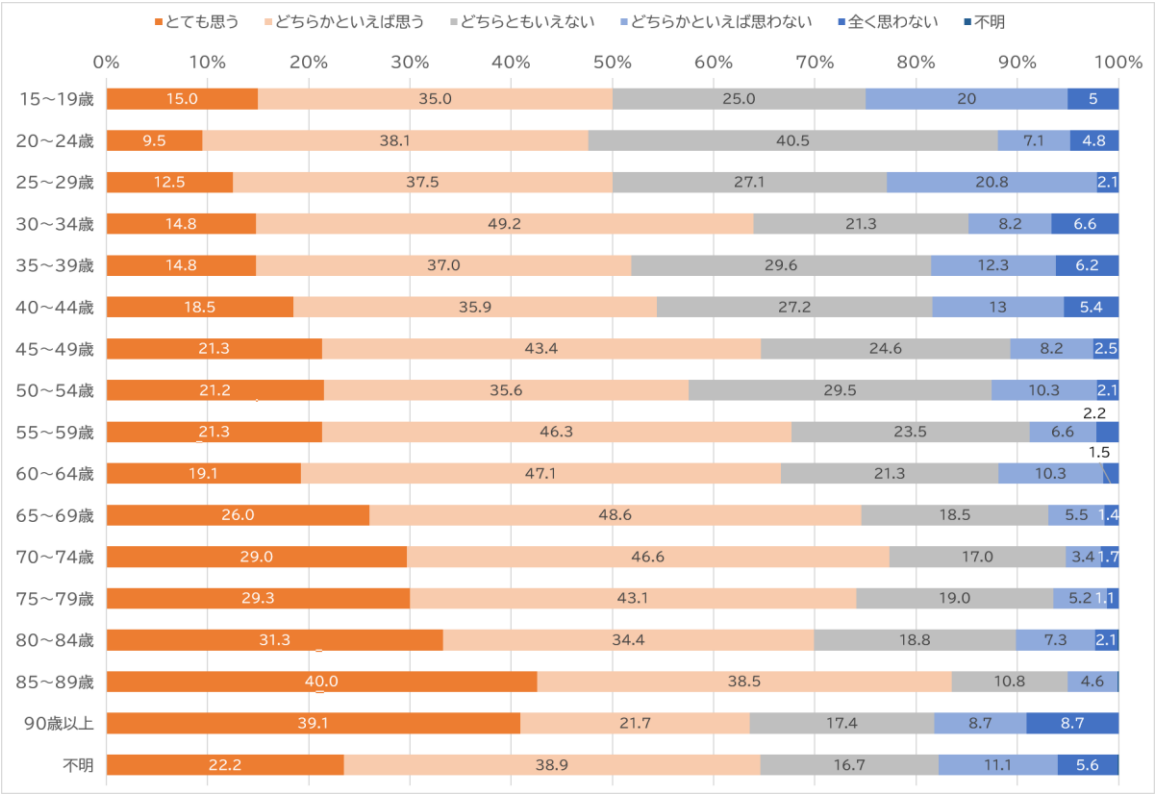
１６　あなたは、福島市に住み続けたいと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	378	23.3
どちらかといえば思う	678	41.8
どちらともいえない	363	22.4
どちらかといえば思わない	137	8.4
全く思わない	43	2.7
不明	23	1.4

（令和7年度実績値）	基準値
65.1	66.0

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
65.6	59.5	64.1	63.5





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．自然が豊かで住みやすい
2．温泉や果物の魅力
3．地元の人々の温かさ
4．生まれ育った場所への愛着
5．生活の利便性と安定感

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．夏の暑さや雪の不便
2．市内の活気や魅力の不足
3．他地域への移住を希望
4．交通の利便性への不満
5．福島市の発展への懸念

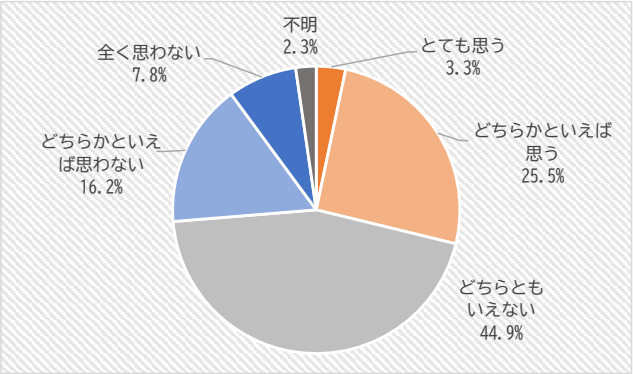
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．利便性と住環境のバランス
2．福島市の改善点への期待
3．外部への情報提供や魅力が不足
4．生まれ育ちへの中立的感想
5．移住や生活の選択肢を検討

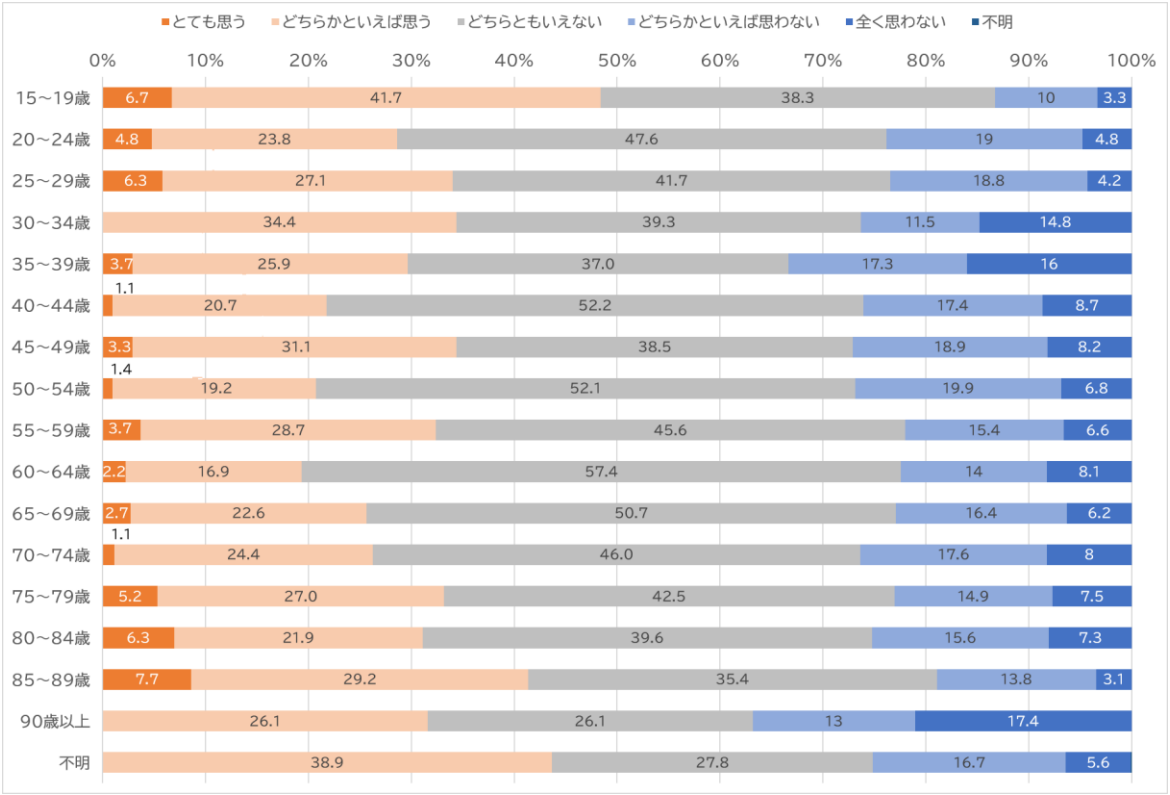
１７　あなたは、福島市が地域社会のＩＣＴ化が進み、市民生活が快適で便利になったと思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	53	3.3
どちらかといえば思う	413	25.5
どちらともいえない	729	44.9
どちらかといえば思わない	263	16.2
全く思わない	126	7.8
不明	38	2.3

（令和7年度実績値）	基準値
28.8	23.2

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
34.9	32.8	35.3	31.7





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．手続きの簡略化の進展
2．コンビニ証明書取得の便利さ
3．市役所窓口のスムーズ化
4．デジタル化の利点と効率化
5．若い世代への対応の便利さ

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．高齢者へのデジタル化の負担
2．ICT化の恩恵が届かない
3．無駄な投資や過剰な労力
4．アナログの良さの欠如
5．サポート体制の不足

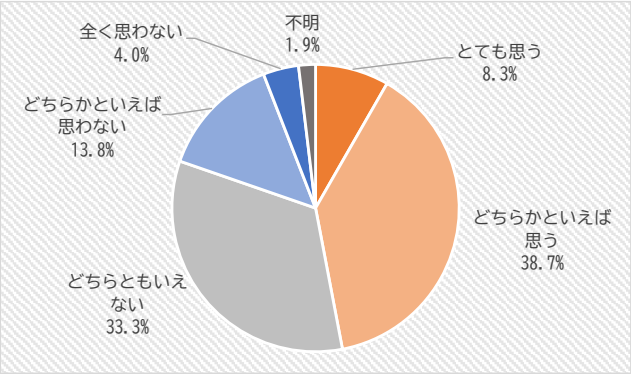
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．利用する機会が少ない
2．ICT化の実感が乏しい
3．高齢者層への配慮不足
4．手続き負担の改善を期待
5．現状の利便性に懐疑的

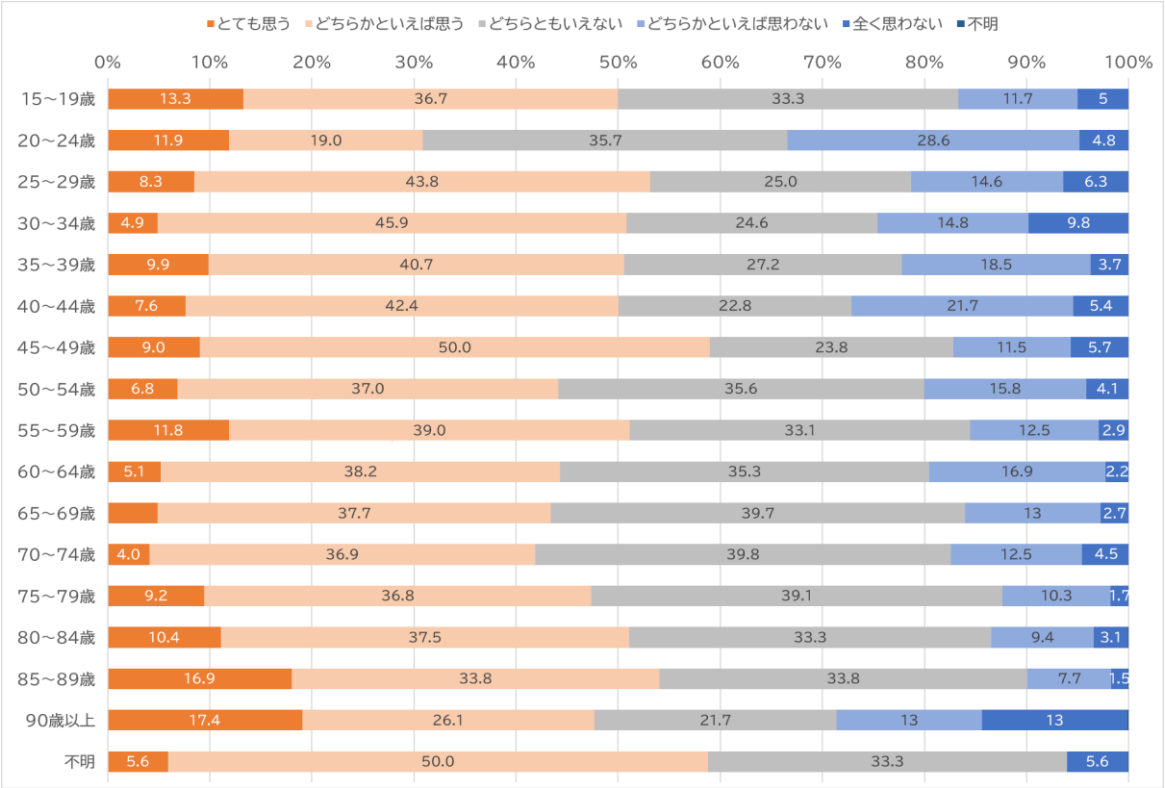
１８　あなたは、福島市がスポーツに触れる機会に恵まれていると思いますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
とても思う	135	8.3
どちらかといえば思う	628	38.7
どちらともいえない	540	33.3
どちらかといえば思わない	223	13.8
全く思わない	65	4.0
不明	31	1.9

（令和7年度実績値）	基準値
47.0	23.0

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
48.9	45.1	47.5	35.4





●分析結果

「とても思う」または「どちらかといえば思う」の回答者の頻出項目
1．スポーツイベントの充実
2．福島ユナイテッドFCへの期待
3．市民参加型の取り組み
4．あづま総合運動公園の活用
5．健康促進の企画と活動

「どちらかといえば思わない」または「全く思わない」の回答者の頻出項目
1．施設のアクセスが不便
2．スポーツの種類が限られる
3．高齢者や子供への配慮不足
4．地域間の格差の存在
5．公園や施設の整備不足

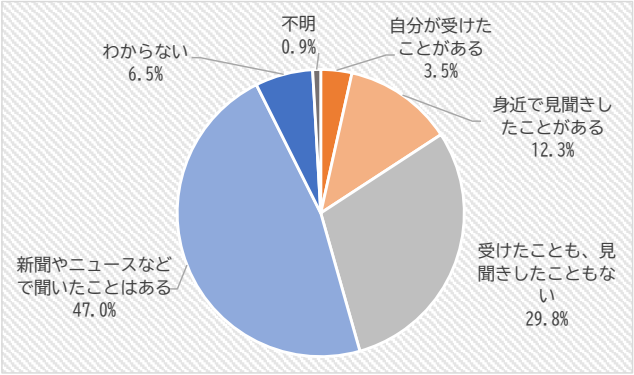
「どちらともいえない」の回答者の頻出項目
1．具体的な実感が湧かない
2．一部の競技への偏り
3．利用環境の整備課題
4．機会の公平性に疑問
5．健康とスポーツの結びつき

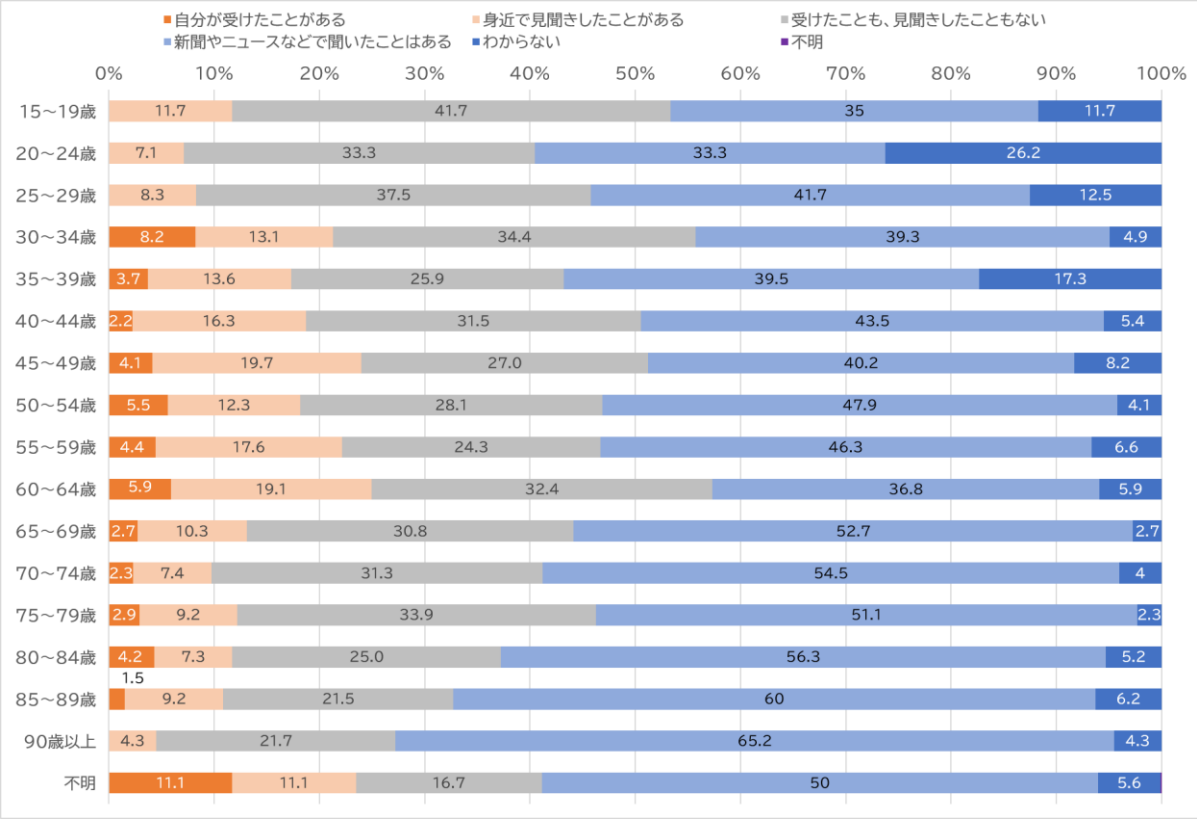
１９　あなたは、ＤＶ被害を受けたことがある、又は身近で見聞きしたことがありますか？

項目	件数	構成比(%)
全体	1,622	100.0
自分が受けたことがある	57	3.5
身近で見聞きしたことがある	200	12.3
受けたことも、見聞きしたこともない	484	29.8
新聞やニュースなどで聞いたことはある	762	47.0
わからない	105	6.5
不明	14	0.9

（令和7年度実績値）	基準値
15.8	24.1

（令和6年度）	（令和5年度）	（令和4年度）	（令和3年度）
17.8	18.8	19.5	18.7





●分析結果

「自分が受けたことがある」または「身近で見聞きしたことがある」の回答者の頻出項目
1．身近でのDV被害の存在
2．家庭内での暴力の実情
3．DVからの避難支援の必要
4．経済的なDVの認識拡大
5．子供への支援の強化

「受けたことも、見聞きしたこともない」の回答者の頻出項目
1．DVの認識不足
2．身近での経験なし
3．公的支援の周知が不足
4．DVの定義が曖昧
5．問題の見えにくさ

「新聞やニュースなどで聞いたことはある」の回答者の頻出項目
1．報道でのDV事件の拡散
2．モラルや法律の教育不足
3．セクハラ・パワハラとの混同
4．社会全体の対応が課題
5．海外事例との比較

２０　市政に関するご意見などがありましたら、ご記入ください。（市政全般に対する意見）

●分析結果１：全年齢区分、全性別を対象とした集計結果。頻出項目上位10件を抽出。

１．駅前開発の促進・・・駅東口・西口の再開発の進展と活性化を求む意見が多い。

２．子育て支援の拡充・・・子育て世帯への支援や環境改善を求める声が多い。

３．若者の定住促進策・・・福島市からの人口流出防止と住みやすい街づくりの提案。

４．高齢者福祉の充実・・・高齢者が安心して過ごせるサービスや施設改善要求。

５．地域交通の利便性向上・・・バス・鉄道の運行改善や交通アクセスの充実要望。

６．環境問題への取り組み・・・太陽光発電パネル撤去や自然保護の訴えが多い。

７．地元経済の活性化策・・・企業誘致や商業施設の拡大に向けた施策の提案。

８．行政の透明性向上・・・行政の取り組みに対する情報の公開・周知を求む声が多い。

９．防災対策の強化・・・災害対策や安全なインフラ整備を求める要望が目立つ。

１０．観光資源の活用促進・・・温泉や果物など、地元資源のアピールを求む意見が多い。

●分析結果２：若い世代（年齢区分15～29）の男性を対象とした集計結果。頻出項目上位5件を抽出。

１．駅周辺の活性化の必要性・・・福島駅の賑わいを取り戻す施策への期待。

２．イベント施設不足・・・郡山市との比較を挙げ、施設誘致の重要性を強調する意見。

３．若者向け娯楽施設の提案・・・遊び場や交流施設の不足が指摘。

４．就職支援と雇用創出・・・福島市内での若者への職業機会拡大に関する要望。

５．市民生活の利便性向上・・・交通網や日常生活の改善を求める声が直結している。

●分析結果３：若い世代（年齢区分15～29）の女性を対象とした集計結果。頻出項目上位5件を抽出。

１．子育て環境改善への期待・・・子供の遊び場や保育支援拡充を望む意見が多い。

２．駅周辺の商業施設拡大・・・東口・西口施設の魅力度向上を訴える意見が多い。

３．食と観光へのアプローチ・・・地元の食文化や観光地の活性化への提案。

４．安全で住みやすい環境整備・・・生活の安心と治安向上を求める意見が多い。

５．働きたい若者への支援策・・・女性目線での就業環境改善や支援の充実。